

厚生労働科学研究費補助金（認知症政策研究事業）
分担研究報告書

技術導入に対する医療従事者と当事者・家族の認識の比較検討

研究分担者 中西 三春 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻
精神看護学分野 准教授

研究要旨 認知症ケアの技術導入に対する医師、当事者、家族の視点からの是非を明らかにするために、6か国の国際比較調査を開始した。オランダのLeiden University Medical CenterのCONT-END研究と確立した国際共同研究体制のもと、説明動画および調査票の日本語版を確定し、倫理審査の申請を行った。医療従事者の調査対象のリクルートを開始した。

A. 研究目的

2019年6月に発表された「認知症施策推進大綱」において、「予防法やケアに関する技術・サービス・機器等の評価指標の確立」がうたわれている。認知症の人は新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高く、また重症化リスクも高いことから、身体的接触を伴うケアがより困難になっている。2020年のLancet Commission paperにおいても、認知症ケアにおける技術の適用をより進めることが推奨されている。しかし技術の適用に対する当事者や家族の受け入れは明らかではない。本研究では医師等の医療従事者、当事者、家族のそれぞれの視点から、認知症ケアの技術導入に対する是非を明らかにすることを目的とする。

B. 研究方法

日本、オランダ、ドイツ、スイス、イスラエル、米国の6か国による国際共同研究を実施する。対象は医師、当事者、家族が1か国につき各50名と設定する。

調査が企画された2019年の段階では、調査員の訪問面接により、動画資料と質問紙を併用した聞き取り調査を行うことを想定した。また聞き取り調査に際しては通訳が同席する計画であった。新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年に調査手法の見直しが検討された。その結果、医療従事者調査ではzoom等のウェブ会議を用いた聞き取りを実施することとした。他方、認知症の人や家族介護者にウェブ会議で聞き取りを行うことは難しいと判断された。したがって当事者、家族調査は感染が収束している時期に、感染対策をと

りながら、訪問面接で実施することとした。

(倫理面への配慮)

当事者が本研究に参加するにあたり、改めての認知機能検査は本人に対する負荷やステイグマ強化のおそれがあるため、実施しない。医療従事者は国際的な尺度を用いて、当事者の意思決定能力を推定し、参加の適格基準を満たしているか判断する。

C. 研究結果

オランダ、米国でプロトコルの倫理審査が行われ、承認が得られた。倫理審査での指摘事項をふまえて英語版の調査票が修正されたため、昨年度に作成した日本語版の見直しを行い、最終確定した。また当事者への調査説明に使用する動画の日本語版を作成するため、確定した日本語版ナレーションに沿って日本人による音声の録音を実施し、動画の日本語版を完成させた。

日本での倫理審査を申請し、2022年1月に継続審査の判断がなされた。委員会のコメントに沿って修正したプロトコルで再審査を受け、2022年2月22日に承認を得た。医療従事者調査の対象候補者について、研究班の機縁によりリクルートを開始した。

D. 考察

技術の適用により当事者の自己決定を維持・向上するという基本的な考え方に対し、認知症患者に自己決定の維持が可能かという疑問が倫理審査の過程において示された。世

界的に医学研究への患者・市民参画

(Patient and Public Involvement, PPI)

の推進がうたわれている一方で、認知症におけるPPIの試みについては、今後より広く社会の理解を得るための取り組みが必要であることが推察された。

E. 結論

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、認知症ケアにおける技術適用のニーズは高まる一方で、当事者の視点からの受け入れは明らかではない。認知症の研究におけるPPIも確立されているとは言いがたい状況にある中、本研究の試みは技術導入に関する倫理的な課題を克服するために必須であり、今後も国際共同研究体制のもと継続していく予定である。

F. 健康危険情報

特記すべきことなし。

G. 研究発表

論文発表

1. 中西三春. エビデンスに基づいた認知症予防, ケア, 社会的包摂. 日本認知症ケア学会誌 19(4), 634-643, 2021.

学会発表

1. Nakanishi M. Change in care location of older adults who resided in group homes in Japan: An observational study using long-term care insurance comprehensive database. Alzheimer's Association International Conference 2021 (2021.07.26-30, virtual)

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得
なし。
2. 実用新案登録
なし。
3. その他
特記すべきことなし。